

2013/04/18

豊川用水の耐震工事で見学会を開催

～愛知県豊橋市～

平成 25 年 3 月 5 日（水）、東部幹線水路岩崎サイホン外改築工事の現場で発注者である独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部との共催で、豊橋市立高豊中学校の生徒約 430 人を招き、工事見学会を開催しました。

豊川用水は、愛知県豊橋市を含む広範囲の地域を潤す用水路です。現在、大規模地震による被害を未然に防止し、災害時にも必要な通水ができるように耐震対策工事を実施しています。本工事は、点在した 6 箇所のサイホン及び暗渠を鋼管（ボックス型鋼管、巻込鋼管）にて補強する工事です。今回の見学会は、そのうちの 1 箇所である高豊中学校のグラウンドの地下を通る「東赤沢暗渠」にて通水前に行いました。見学会では、まず、水資源機構豊川用水総合事業部豊橋支所長が豊川用水のあゆみ、施設の概要、用水の利用状況等について説明し、施工会社である当社が工事の概要、施工方法をビデオを交えて説明しました。その後、生徒たちは約 200 メートルの水路（φ3200mm 鋼管）の中を歩いて見学しました。「自分の通う中学校の下にこんな大きな水路があるなんて」と驚きと喜びを隠せない様子でした。

